

シルバーとよなか

ふれあい

2005年1月

賀春

社団法人 豊中市シルバー人材センター

No.39

新春を迎えて



理事長
清水 和夫

新年あけましておめでとござ
います。

皆様におかれましては、健康で
希望に満ちた新春をお迎えになら
れましたことを心からお慶び申し
上げます。

昨年中は当センターの事業運営
に変わらぬご理解・ご協力を賜り
厚くお礼申し上げます。またとり
わけ、市民の皆様をはじめ各種事



豊中市長
一色 貞輝

新年明けましておめでとござ
います。

皆様方には、お健やかに新年を
お迎えのこととお喜び申しあげま
す。

平素は清水理事長さんをはじめ
め、会員の皆様方には、市政の推
進に格別のご理解とご協力をいた
だき、厚くお礼申し上げます。

業所、行政機関等の幅広いご支援
をいただくことができ、厳しい社
会・経済状況下ではありましたが、
前年並の実績を上げることができ
ました。

このことは多くの会員の皆様に
多種多様な就業機会を提供するこ
とにより、その豊かに培われた経
験・技能を生かすことができたも
のと思っています。

私が昨年五月の通常総会で理事
長に就任しましてから、早や七ヶ
月が過ぎましたがこの間、高年齢
者の就業意欲の高まりを見る時、
シルバー人材センターを育成、拡
大していくことの重要性を痛感し
たしております。

さて、景気の動向も回復基調
にあるというものの昨年も実感に

わが国の経済は、デフレ懸念の
後退や雇用情勢の改善により、国
内の景気は回復基調を保っており
ますが、原油価格の高騰や円高
の進行などにより、経済全般にわ
たって、先行きに不安感が広がっ
ております。

昨年豊中市は、「環境情報サロ
ン」や「ごども家庭相談室」をは
じめ、四市二町の協力で、「豊能
広域ごども急病センター」をオー
ンしました。

また、市政の新たな市民参加や
協働によるまちづくりを推進する
ための「市民公益活動推進条例」
や「高齢者交通安全条例」をほ
じめ、土地利用の調整や中高層建築
物等に関する条例などを施行する

乏しく身近な年金制度改革への不
安や、未だイラクでの紛争や派遣
にからむ国内外でのテロへの不安
等、景気の先行きが不透明である
なか、シルバー人材センターを取
り巻く環境は依然厳しいものがあ
ります。

昨年六月には高齢法の一部改正
が行われ、シルバー人材センター
でも一般労働者派遣事業に参入す
ることが可能となりましたが、こ
の背景には今後のシルバーの役割
を雇用と年金との接続を目指すこ
とも、団塊の世代がシルバー世
代に突入する時期を目前にし、高
齢者の多様な働き方に応じた就業
及び労働機会の確保を目指すもの
として注目されております。

当センターでは今後もこういっ

とともに、インターネットを利用
した電子入札システムの運用やパ
ブリックコメント制度の導入を行
いました。これも市民の皆様のご
理解とご協力のお陰と心から感謝
いたします。

景気の低迷や少子高齢化に伴い
市税収入が減少し、豊中市の財政
は大変厳しい状況にあります。分
権型社会にふさわしい個性豊か
な地域づくり、くらしづくりを進
めていくため、昨年策定しました
「行財政再建指針」とその具体化
を図るための「行財政再編計画(第
一年次)」に基づきながら、「変わ
ろう、変えよう、とよなか」を合
言葉に、財政基盤の確立や行財政
の構造改革を進めてまいります。

た新たな時代の要請に応えるべ
く、会員による自主・自立、共
働、共助の理念を基に、自主性の
ある事業運営を目指しながら、お
客様にたいしても利便性のあるセ
ンターづくりのため、私も役職
員一同さらに頑張つてまいります
と存じます。

最後になりましたが、昨年は夏
の猛暑による異常気象を初めとし
て台風の上陸、阪神・淡路に匹敵
する新潟県中越地震等の自然災害
に日本列島がほんろうされ、まさ
しく自然の猛威による災難の年で
ありましたが、新しい年が皆様に
とりまして、よりよい年となりま
すようお祈り申し上げ新年のご挨拶
といたします。

本年は、阪神・淡路大震災の発
生から十年を迎えます。また、昨
年の「新潟県中越地震」や台風
二十三号は、自治体関係者に多く
の教訓を与えましたが、これらの
教訓・経験を生かしながら災害へ
の備えはもとより、住みなれた地
域で誰もが安全で安心して生活で
きる、活力あふれる協働のまちづ
くりに取り組んでまいります。

今年も一層のご支援とご鞭撻を
お願い申し上げますとともに、新
しい年が社団法人豊中市シルバ
ー人材センターの皆様方にとりま
して素晴らしい年となりますようお
祈りいたします。

あけまして おめでとうございます

理事 清水和夫	副理事 高塚準一郎	常務理事 中川善博	理事 岡本宗五男	理事 小川健一	理事 小川信一	理事 武井秋雄	理事 徳井利雄	理事 平井美恵子	理事 松田登美子	理事 行田尊子	理事 丸目春三	理事 村上茂之	理事 竹内訓夫	理事 村内嘉康	理事 田嘉康		
第一班 青木富雄	第二班 西田祐吉	第三班 牛田功男	第四班 永吉和郎	第五班 大森一男	第六班 中川満雄	第七班 小川信一	第八班 武井利雄	第九班 徳井美恵子	第十班 平井美恵子	第十一班 松田登美子	第十二班 行田尊子	第十三班 丸目春三	第十四班 村上茂之	第十五班 竹内訓夫	第十六班 村内嘉康	第十七班 田嘉康	
鶏飼 芙美子	田中 ムツ子	小野 夏美	長 永 夏 枝	紅 山 正 義	梶 田 正 優	荻 野 フミ子	尾 崎 千 秋	伴 野 照 次	下 窪 登 美 子	吉 村 君 子	井 上 早 雄	栗 原 善 夫	西 川 昌 治	小 西 昌 治	高 塚 準 一 郎	山 古 本 保 高 本 本 増 増 早 播 小 石 岡 田 鳩 木 藤 藤 原 村 一 賞	
藤 村 多 仁 子	堀 田 良 郎	井 上 良 紀	本 多 政 紀	吉 岡 準 一 郎	高 塚 尊 一 郎	行 田 美 津 子	川 末 幸 雄	中 村 幸 雄	平 田 秋 彰	小 森 美 恵 子	徳 永 美 恵 子	原 善 夫	栗 野 浩 三	小 槇 彰 三	伊 藤 祐 治	竹 中 祐 治	伊 藤 祐 治

地域班役員

豊中市議会議長 中川 昭吉



新年明けましておめでとうございます。皆様方には、お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中は、市議会活動に対し、あたたかいご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。昨年を振り返りますと、世界各地で紛争やテロが起こり、日本

人も含め、多くの尊い生命が奪われるなど、暗いニュースが連日のように各メディアで報道されました。このような中、オリンピック発祥の地で開催されたアテネ五輪では、日本人選手が大活躍し、多くのメダルを獲得し、私たちに勇気と感動を与えてくれました。国内においては、記録的な大型台風の襲来、集中豪雨や洪水、地震等により、多くの被害を受けた自然災害受難の年でもありました。中でも、新潟県中越地方で発生した地震の被害は甚大で、多くの方が避難生活を余儀なくされました。一日も早い復興をお祈り申し上げます。一方、わが国の経済状況をみますと、緩やかながら景気は回復基

調にあります。雇用情勢は依然厳しく、本格的な内需回復による個人所得の安定と個人消費を中心とした経済状況の回復までにはいたっておらず、なお先行きが不透明な状況にあります。わが国の人口は平成十八年をピークに減少に転じることが予想され、少子高齢化社会による労働力人口の減少を緩和するためにも、シルバーク世代の方々の豊かな知識、経験、技能が今後ますます必要になってくることを認識しております。

最後に、豊中市シルバー人材センターにおかれましては、高齢者の多様な就業機会の提供、生きがいづくりや社会参画など幅広い活動にご尽力を賜っておりまことは、誠に心強く、心から敬意を表し感謝を申し上げます。本市においては、市税収入の落ち込み歯止めがかからず、一般会計が六年連続で赤字決算となるなど、極めて厳しい財政状況にあり、財政の健全化に向け、行財政改革を推し進めているところであります。市議会といたしましても、市民の皆様が安全で安心して暮らせるまちづくりに向け、さらに努力してまいります。

安全就業委員

独自事業 運営委員

奥井 弘道
早川 敏夫
永吉 功三
藤本 哲雄
田尻 正雄



1 シルバー人材センター事業の内容

シルバー人材センター連合は、実施要領の五のシルバー人材センター事業の一環として、次の事業を、必要に応じて実施するものとする。

(1) 安全・適正就業対策推進事業の実施

就業機会の提供を受けようとするシルバー人材センター連合の活動拠点（以下「活動拠点」という。）の会員たる高齢者（以下「高齢退職者」という。）の安全・適正就業について積極的に取り組むこととし、安全・適正就業対策についての体制整備を図るとともに、高齢退職者への安全意識の徹底とその高揚、的確な安全・適正就業指導

の実施等、実効ある安全・適正就業対策の推進に努めるため、「安全・適正就業推進員」を配置するとともに、当該推進員を中心として次の業務を行う。

- ① 安全・適正就業推進計画及び通勤途上事故防止計画の策定
- ② 安全・適正就業に係る講習・研修の実施
- ③ その他安全・適正就業のために必要な事項

(2) 介護サービス促進事業の実施
地域社会における介護又は福祉家事援助サービス（以下「介護サービス」という。）の需要に積極的に取り組むこととし、サービスを提供する高齢退職者の拡大、サービス利用者の開拓、コーディネート等の配置等を内容とする介護サービス促進事業を行う。

(3) 高齢者生活援助サービス事業
地域社会における高齢者の生活援助サービスの需要に積極的に取り組むこととし、サービスを提供する高齢退職者の拡大、サービス利用者の開拓、コーディネート等の配置等を内容とする高齢者生活援助サービス事業を行う。

(4) 高齢者活用子育て支援事業
地域社会における子育て支援の需要に積極的に取り組むこととし、サービスを提供する高齢退職者の拡大、サービス利用者の開拓、コーディネート等の

配置、サービス提供者のスキルアップ等を内容とする高齢者活用子育て支援事業を行う。

(5) 地域高齢者社会参加促進事業（社会参加型）
派遣による就労、自営起業、無償・有償のボランティアなど高齢退職者の多様な就労・社会参加を促進するため、「総合就労支援コーナー」の設置、コーディネート等の配置等を内容とする地域高齢者社会参加促進事業（社会参加型）を行う。

(6) 地域高齢者社会参加促進事業（保全力型）
高齢退職者の就業による社会参加を促進するため、市区町村と連携して、環境保全、リサイクル事業を実施することとし、サービスを提供する高齢退職者の拡大、サービス利用者の開拓、コーディネート等の配置等を内容とする地域高齢者社会参加促進事業（保全力型）を行う。

(7) その他高齢退職者の確保や就業機会の開拓等に資するもの

2

シルバー人材センター事業で取り扱う仕事の範囲等に係る留意事項

(1) シルバー人材センター連合は、高齢者等の雇用の安定等に関する法律（昭和四十六年法律第六八号）第四五条において準用する同法第四二条第一項

第一号の実務の実施に当たっては、主として地域社会の日常生活に密着した仕事であって、一般の職業安定機関での職業紹介には馴染まないものを取り扱うものであり、その趣旨に沿わない次のような仕事は取り扱わないものとする。

- ① シルバー人材センター事業が行われる地域において、一般的に常用雇用、日雇、パートタイム、家内労働等により労働者等が雇用され又は就業している仕事で、シルバー人材センター事業で取り扱うことにより労働者等の雇用又は就業の場を侵食したり、労働条件等の低下を引き起こすおそれのあるもの
 - ② 事故が発生した場合に、シルバー人材センター連合の損害賠償額が多額となることが見込まれる仕事
 - ③ 危険又は有害な作業を内容とする仕事
 - ④ その他シルバー人材センター事業の目的にふさわしくない仕事
- (2) 仕事を受注する場合の基本的姿勢
シルバー人材センター事業の実施主体であるシルバー人材センター連合は、次の事項に留意の上、仕事を受注することとする。
- ① 受注する仕事については、できるだけ家庭、民間事業所

(3)

等から確保するよう努めることとし、地方公共団体からの仕事に過度に依存する運営にならないよう努めること

② 受注する仕事の対価については、地域における類似の仕事の対価に比べ著しく低くないように配慮すること

③ 高年齢退職者に対する仕事の提供に係る留意点

① シルバー人材センター連合

は、高年齢退職者に対して、受注した仕事を、高年齢退職者の能力と希望に応じて公平に提供するように配慮すること

② シルバー人材センター連合が高年齢退職者に対して仕事を提供するに当たっては、次の事項に配慮すること

イ 仕事の内容を明示すること

もに、必要に応じて適切な助言を行うこと

ロ 高年齢退職者へ仕事を提供

する際は、請負又は委任という形式で行われることを踏まえ、高年齢退職者の仕事の方法等に特に配慮すること

関係機関との連携

シルバー人材センター連合は、依頼を受けた仕事の内容について、実態として発注者と高年齢退職者との間に雇用関係が生じることが見込まれる場合は、仕事を受注しないで、無料の職業紹介事業が実施できる活動拠点にあってはその対象として取り扱うこととし、それ以外

の活動拠点にあっては、無料の職業紹介事業を実施する活動拠点に取り次ぐなど、適切に実施することとする。

また、職業安定機関の職業紹介によることが適切なものについては、公共職業安定所等に取り次ぐなど職業安定機関その他関係機関と緊密な連携を図ることとする。

なお、上記の場合においては、発注者又は紹介を受けた者のいずれから「事務費」「材料費」等いかなる名称であっても職業紹介に関する一切の経費の徴収を行ってはならない。

3 シルバー人材センター連合の事業計画

シルバー人材センター連合は、指定区域における高年齢者の状況、地域社会の就業ニーズ等の把握に努め、高年齢退職者の確保、就業機会の開拓、安全・適正就業の確保、シルバー人材センター事業の拡大等に関する中長期にわたる事業計画を策定し、健全な運営が図れるよう努めることとする。

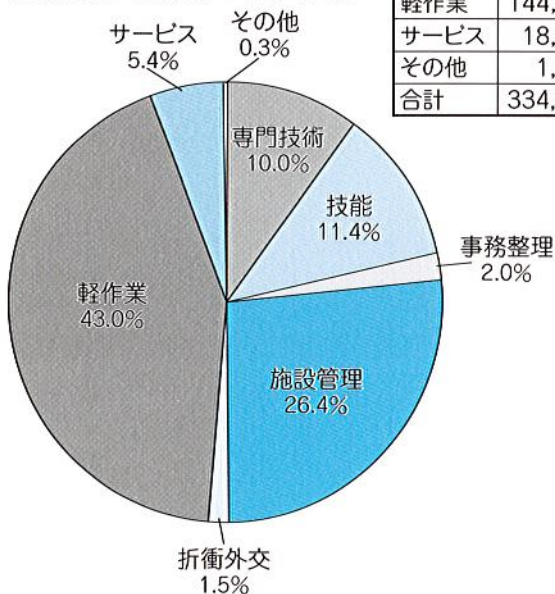
4 その他

高年齢者就業機会確保事業（シルバー人材センター事業）に関し、その他必要な事項は、別に定めるものとする。

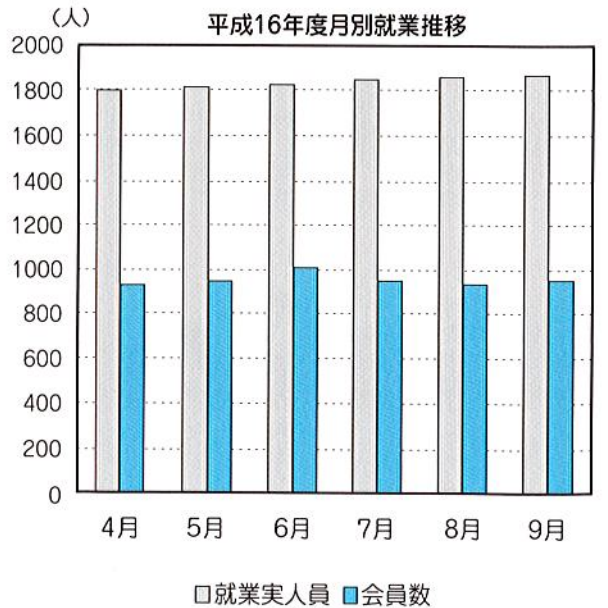
平成16年度上半期職種別契約金額状況

	平成16年(円)
専門技術	33,576,217
技能	38,043,016
事務整理	6,554,620
施設管理	88,549,980
折衝外交	4,938,861
軽作業	144,095,273
サービス	18,118,494
その他	1,083,285
合計	334,959,746

職群別契約金額(平成16年度上半期)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月
会員数(人)	1,799	1,813	1,824	1,847	1,855	1,866
就業実人員(人)	931	949	1,008	944	933	948



事務局から



業務課長

中井 敬士

四月に業務課長を拝命してはや九ヶ月が過ぎました。

係長の時にもまして、「責任」と「仕事」が増え、役目を無事にこなしていけるか、不安を覚えながら毎日を過ごしてまいりました。やはり、課題にしたことや考えていることの半分も実行できず、日々の業務に追われてしまっているのが現状です。

しかし、持ち前の「脳天気」と会員の皆様のご協力、職員のあとおしのおかげでなんとかがんばってまいりました。

今年は、これまでに積み残して

きた仕事を一つでも多くクリアしていきたい、明るく、元気なシルバー人材センターをめざしていきたいと思えます。

これからも、「理想」と「現実」のはざままで、できる限りのことを、自分なりに精一杯がんばることが職務をつとめあげることになると思いますが、皆さんとおつきあいさせていたただきたいと考えております。

まだまだ未熟で微力ではありませんが、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

せひ、全国に誇れる「豊中市シルバー人材センター」をみんな育て、みんなで作っていきましよう。



庶務課長

田辺 光廣

四月一日付け庶務課長を拝命いたしました。日頃から会員の皆様方には何かとご指導、ご鞭撻をいただきありがとうございます。紙面を利用させていただき、心からお礼申し上げます。

平成五年から庶務係に異動し、直接会員の皆様やお客様に仕事の紹介、確認等をする個人別対応の業務から事業全般の執行状況等、総合的な事務処理をする仕事に変わりました。

超高齢社会のなかで会員の皆様の仕事を通じて、自らの生きがいの一つとするとともに、活力ある地域社会づくりに貢献することを目的として、大河内一男先生が提唱され、全国の多くの高齢者の方に賛同していただいた「自主・自立、共働・共助」の理念に基づき、シルバー人材センター事業の果たす役割は重要であり、その意義は大変すばらしいものだと思います。

会員登録された皆様の長年培われた経験・技能を生かし、雇用形態ではなく、委託・委任を受け、就業する事業形態は、世界で類を見ない「日本のように勤勉で働くことを生きがいにすることができ、超高齢社会」であることが前提になっていると思います。

センターへはいろいろな仕事の依頼がありますが、会員の皆様にとつて、ほとんどの仕事は既に、経験されていたことが多く驚かされます。また、経験がなくてもホームヘルパーや植木剪定、パソコン講習等の研修を受け、技術を習得してみよう、就業につなげてみよう、とされる、向上心、就業意欲、好奇心の多さに感心させられます。数年先には団塊の世代の方を含め、多くの高齢者の方が会員登録され、ますますシルバー人材センター事業は発展、拡大するものと

信じています。これからもお客様の声を聞き、超高齢社会のニーズに応え、生き生きと就業されている会員の皆様がおられる限り、シルバー人材センターの未来は明るく、輝かしいものとなります。

このように多くの諸先輩に見守られ、仕事の段取から人生に欠かすことのできない人と人との連係の仕方まで、ひとりでは絶対に経験できない実体験に基づいた指導や助言等を頂きながら、地域の皆様や会員の皆様に喜んでいただける仕事ができることはやりがいがあり、幸せだと感じています。

何卒、これからも会員の皆様方には健康に留意され、就業されるとともに、センターを愛し、あわせて私を含め事務局職員を育てていっていただくようお願い申し上げます。



庶務課

経理主任
志方 清彦

新年あけまして、おめでとうございませう。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

去年四月一日に、「経理主任」という役職を理事長から拝命し、まだわずか九ヶ月ほどしか経っておりませんが、(平)職員の時と役職が付いた今とでは、仕事に対する責任が重くなり、毎日を気の

引き締まる思いで過ごしてあります。

役職が付いたからと言って、特別な仕事が増えたわけでもありませんが、これまでどおり、経理とパソコン講習会の企画運営と独自事業(A・B部会)の担当として今年もがんばってやっていきたいと思っています。

会員の皆さまには、シルバー人材センターの運営に、何かとご協力いただきありがとうございます。

紙面をお借りし心から御礼申し上げます。今後とも、よろしくお願い申し上げます。また、パソコン講習で、ご希望等ございましたらお知らせ下さい。



業務課 営業主任
伊藤 彰彦

新年あけましておめでとうございます。私、伊藤彰彦は昨年の四月に営業主任に就任を致しましてからはや九ヶ月が経ちました。振り返りますと日々仕事に追われた毎日であり、無我夢中の九ヶ月であったように思います。今年もしっかりと腰を据え、計画性をもって仕事に取り組みたいと思います。会員の皆様並びに発注者、お客様からご満足の頂けるようにがんばりたいと思います。また確かな信用・信頼を今以上に築きあげ

な信用・信頼を今以上に築きあげ

気くばり、目くばりの良くてできる営業マンとして、本年もシルバー人材センター事業の発展のために精一杯働き、会員の皆様と共に、親切・丁寧・確認をモットーに誠心誠意がんばって参りたいと思っております。ですのでよろしくお願い申し上げます。



庶務課 庶務主任
村井 幸子

大学卒業後、大和ハウス工業(株)での四年間の勤務を経て、元来子供好きであった私は、国家試験で保育資格を取得し、豊中市の保育所等で臨時職員として働いていた縁で入社し、今年ではや十八年を迎えました。この間、会員の皆様から多くの事をご教示頂き、今日の「私」が有るのだと感謝の念で一杯です。今後、前水上理事長からご指導頂いた誠意、熱意、創意の「三つ」の意と、民間企業で培った、STRONG(強い意志)、STRATEGY(戦略)、SPECIALLY(プロ意識)の「三つ」のSを念頭に、仕事に対して常にプロ意識を持ち、十分な知識と戦略の下、最後まで粘り強くやり遂げる強い意志で、会員の皆様に喜んで頂けるセンター造りを心掛けたいと思っております。

賛助会コーナー

- (株)イーパック (日出町)
- (有)イーパック物流 (日出町)
- (株)内田スプリング製作所 (千成町)
- (株)大川歯車製作所 (庄内宝町)
- 大阪理研工業(株) (神州川)
- (株)オカキン (原田中)
- 国産部品工業(株) (新千里東町)
- 岸岡企業(株) (庄内西町)
- 三栄源エフ・エフ・アイ(株) (三和町)
- 三和ビル(株) (庄内東町)
- (株)エィティピー新大阪駅内支店 (大阪府淀川区)
- 庄内神社 (庄内幸町)
- 正光山浄行寺 (走井)
- 白石薬品(株) (東大阪市横枕)
- 摂津水都信用金庫 (茨木市西駅前町)
- (株)太鼓亭 (箕面市稲)
- (社)豊中市社会福祉協議会 (中桜塚)
- 仏光山如来寺 (箕輪)
- ホテルイボリー (本町)
- 丸太食品(株)関西特販部 (大阪府西成区)
- やまかつ(株) (大阪市北区)
- (株)湯山製作所 (名神口)
- (株)渡辺製作所 (名神口)
- (五十音順)

編集のしおり

新年明けましておめでとうございます。
災多き申年をおくり、会員のみなさまにはご健勝にて新しい西年を迎えられたこととお喜び申し上げます。
本年も一色貞輝市長及び中川昭吉市議会議長から懇切なる年頭の祝辞をいただき、厚く御礼申し上げます。「会員のひろば」には、前号に引き続き、独自事業についての思い、就業体験などを会員のかたがたから、ご投稿いただき、紙面を飾ることが出来ました。「ふれあい帽子」のコラムでは佐藤さんに心温まる視線で就業の現場を伝えていただきました。楽しく、就業されている様子が伝わってきます。

表紙写真は藤田泰通氏にお願いし、「賀春」の揮毫は書道同好会の堤喜久男氏のご協力を得ました。また、似顔絵は美術サークルの山階康雄氏にお願いしました。
(編集委員) 岡本宗五男
小笹 彰三
佐藤 アツ



園芸班での十八年間



第1班

西田 秀雄
私は人材セ

ンターの園芸班にお世話になつてはや十八年になります。その間に地区委員十四年と地域委員四年勤めさせていただきました。

当初園芸班の人数は、五〜六人位で就業しておりました。その頃は、業務用の車輛は軽トラックが一台で運搬から残材まで全部こなしていました。現在ではパッカー車で処理していただけるようになり、大変楽になりました。

現在の園芸班は、四十数名となりいくつかの班に分かれ就業しております。私のように、六十歳を迎える前からシルバー人材センターにお世話になる方は少ないと思います。若い時から職人の経験があつて講習会では指導者もやらせていただいています。しかし、定年を迎えられて、第二の人生をシルバー人材センターの園芸班で頑張ろうと入つてこられた方々、全く経験のない方も年に二〜三回開かれる植木

剪定の講習を受けて、慣れない仕事に頑張つておられます。決して楽ではなく、反対にとてもきつい作業内容で、危険を伴う作業が多いのも事実です。

今年の夏の葉刈作業は、猛暑が長く続いたこともあって体力の消耗は、甚だしいものでした。しかし、施主様からの「苦労様です」の一言を掛けていただく事で、どれほど大変な仕事であっても苦労や疲れを忘れ、又明日への糧となり力になります。

日中の作業を終えて、夕食時の冷えたビールは格別においしく、年齢を重ねてきいても身体が元気で働ける事は、幸福だと日々感謝しております。

心の通じおつきあい



第2班

大森 一男
私が「事務局だより」を

配布し出してから早や十年余りが過ぎました。始めの頃は受け持ち地区の会員さんの家を探すのに、あつちへ行つたり、こつちへ行つたりと随分と時間がかりましたが、それも道順が頭に入つて来ると短時間で行けるようになりました。二、三回地区が変わり、何んとか顔を合わせて一声かけたいと思つて見ても留守が多くてそれもなくなかなか出来ません。たまたま会つた方からいとも丁寧なお礼の言葉をかけられた

時は心温まる思いが込み上げ、この「事務局だより」に寄せる会員さん達の喜びを肌を感じると共に、内容の作成に携る事務局のご努力がひしひしと感ぜられます。

又、中には「ふれあい」を大切に保存している方もあります。

又、会員さんも時々は入れ替わりますが、大半の方は長く続いておりシルバー人材センターへの期待と信頼の表われたと痛感いたしました。

月一回のことですが、生活のリズムになり、喜んで続けて行きます。

苦労もあるががんばって



第3班

八幡 明
定年退職して、豊中市シ

ルバー人材センターに入会してはや四年と六ヶ月程になります。その間たくさんの人に出会つて色々な経験や勉強をさせていただいたと思つております。又二年前から事務局だよりの四校区分の配布をやらせていただいておりますが、これにも色々な出来事があります。

始めた時に家を探す事、又表札のない家にはたいへん苦勞しました。今は家も分かり配布時間も早くなり会員さんに会つと、「苦勞さん」とか「ありがと」と言われると嬉しいです。しかし世話人と言う肩書がついているので、会員さんから色々な家に苦情の電話がかかるの

で、困ることもあります。これからも苦勞もありますが頑張つて仕事に励む事にします。

働く同士の輪があつていいよ



第7班

森本 勲
会社を退職して、好きな事

をと思つて、蔬菜作りや果樹、庭木の手入れ等をしている時に市政広報の中に人材センター植木会員の募集があり、すぐ面接を経て会員となり、第一歩を踏み出してはや十一年が矢のよう過ぎた。

振り返れば色々な事が思い出される。しかし今日の日があるのは、日々働く同士の輪があつてこそと感謝しております。疲れた時の雨の思い出、雨は疲れを流してくれた。そんな雨が樹木に活力を与えてくれる。久しぶりの雨よ、私はありがとつと雨に言つた。

仕事は楽しい。それ以上に人の輪がより楽しい。昼食には妻の匂いのする弁当を食べながらの雑談の時間は最高だ。年に一度のこの笑顔、ありがと。別れの合言葉は、「来年も来てね」。共に元気でね。そんな会話が続く健康な毎日だ。

又寒い冬の朝、危ない車のスリッパに手足もしびれる。しかし朝日が当たる頃には体もほぐれ、まだまだ若いと頑張る。

プロである以上、垢ぬけした剪定をするのが大切である。高木に登つ

ての仕事は安全第一作業を心掛けねばなりません。剪定はもとより薬剤散布、施肥、除草剤等これらの事を日常知識に習得して、又園芸に必要な器具の使用もマスターして、年数が来れば一級技能の資格を取るのも良いと思います。ちょっと頑張つて。第二の人生の私では年齢的に遅すぎるかな？...

設立二十周年も過ぎ、毎年の通常総会、園芸班懇親会、毎月の事務局だより、園芸班リーダー会議等で、多少は人材センターの在り方もわかるようになった。園芸班、四十名余りの力の結集の重みを感じながら、五年間の班長職を降り、後継者も決まり、毎日を身体に気を付けて仕事に励む今日のごろです。



失敗をばねにして



第9班

山中 義治

十年一昔と

は、よう言う

たもんで、長いようで短かく感じています。私が除草班に籍をおかせてもらったのは、定年退職後七年が過ぎた時でした。家に引つ込みがちな自分が嫌で、健康であり

たい思いからでした。除草の関係の仕事だったら自分でも出来るとの思い込みでしたが、いざ作業に従事しますとまず対人関係、作業の内容、お客さんとの対応、いろいろな事を勉強させてもらいました。対人関係では皆さんそれぞれが、一世代の仕事をして来られた方ばかりで、家族の事、健康維持の話に華が咲くかと思っていました。がさにあらず、まじめな方々ばかりでした。とまどいつつも今日まで来ました。自分の心ひとつで人生は朗らかに、「何があろうともよしやるぞ」と、すべてを楽しんでいくことができず。自分の心の変革が共に働く除草班の方々との共有の価値観を見出し、皆さんの和を増幅させて、お客さんに喜んでもらえる良い仕事が出来ると確信しています。

仕事の面からもいろいろありました。作業に対する未熟さからお客さんに迷惑をかけ、センター職員の方にも色々お世話になりました。その失敗をばねにして班の皆さんとの対話を密にしています。楽しく仕事をさせてもらい今日まで来ました。仕事をする事が体力と健康の維持に役立つのではないかと思います。又生涯青春の思いで、三味線を習い始めて六年がたちますが、練習不足で上達しませんがぼけないためにもますますがんばります。ハハハ一句。

「三味の糸 喜怒哀楽を 音に奏で」
来る年の幸福を祈りつつ。

同好会 だより

書道同好会

第18班 堤 喜久男
新年あけましておめでとございます。

何年か前に旧友から今更書道をと一笑されたが、「見解の相違や」と反論し、「我が道を行く」で現在まで楽しく続けています。すべからず幾つになっても物事を習うということは目標があつてすべて頭の体操にもつながり、これ元気の活力源でもあると痛感しております。

今の世代は「八十からの手習い」と言つても過言ではない。思い立つたら古口で、同好会の人々との交流を楽しみながら参加されてはいかがでしょうか。現在会員は四十名近く、入会者も年々増え続け、これからはますます楽しい会に成長してゆくものと期待しております。



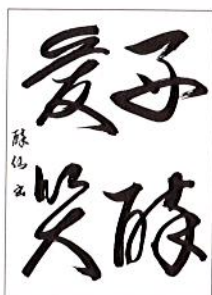
第3班 酒匂 キヨコ



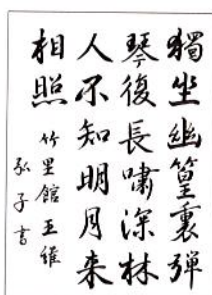
第3班 島崎 幸男



第18班 堤 喜久男



第11班 北住 治



第1班 大西 弘子



第15班 藤沢 充子



第11班 川勝 静香

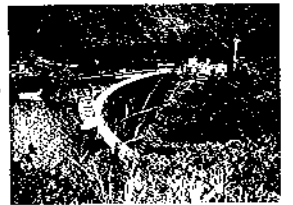
ハイキング同好会

第13班 羽生 恵光

宇治・天ヶ瀬ダム

七月十日、早朝よりの大雨で延期。予定変更のため参加できないと電話連絡が若干ありましたが、十五名の会員さんが参加されました。JR京橋乗り換え。京阪京橋駅ホームに着くと異常な混雑、淀屋橋駅で事故との事。二列車遅らせ乗車しました。中書島駅で乗り換え、無事宇治駅に到着しました。十時、右に宇治橋を見ながら山手方面に十分程歩くと朱塗りの本殿が建つ宇治神社。神社境内を抜けると、日本最古と言われる神社建築の本殿が見えて来ました。宇治上神社です。

世界文化遺産に登録されている本殿に一礼、大吉山に登り始める。約二十分で大吉山。山頂展望台より宇治市内、宇治橋、平等院の森を望む。ここからダムに向かつて出発。上り下りの連続。東海自然歩道に一時合流、途中で別れ、やがて最後の長い長い坂道を登りきるとダムに見える峠の広場に到着。早速食事場所を作り、ホットト一息、山の上は涼しく食事進む。食事も済み、ダム湖に向け、一気に階段を



降り、ダムへの歩道を通り、対岸に向かう。

「天ヶ瀬ダムは、昭和三十九年に完成した淀川水系の初の多目的ダム。湖の名称は鳳凰湖。高さ七十二メートル長さ三百五十四メートル。総貯水量二千八百二十八万立方メートル。宇治川の流れを見ながら吊橋を渡り、一時間三十分、無事京阪宇治駅に着きました。暑い道中、元気に歩き、ご苦労さんでした。

美術サークル同好会

第1班 山階 康雄

紅葉を求めて十一月十九日(金)以前から予定していた屋外スケッチの日。

いつもながら晴天に恵まれます様にと念じる時である。今年はずいぶん暖かい日が続く紅葉にはあまり期待せずに箕面駅に十時集合。スケッチブックを手に八名顔を合わせると、お互い気を引き締め紅葉を求めて出発。ひとしきり登ったところで右手に龍安寺。濃い緑



にかこまれ、寺の屋根、紅色の紅葉が浮きぼり。一瞬これは絵になる。誰かが、「ここにしよう。トイレも近くだし」。特に女性に配慮して。時期的に人出も少ない。曇り空が気になるが気温は良く風なくスケッチには絶好とみなす。箕面公園まで足をのばすとどこかを見てみれば赤い橋。少量ではあるがきれいな水のせせらぎ。橋をバックに描けば良い風景画となる。教室で静物を描くのと違い、自然を描くのは感覚的に違和感を感じる。



数時間スケッチに没頭し、気がつくとき昼前。買い求めた弁当をひろげる。巻寿司、いなり寿司等々をほおばる。秋深まる森の恵みを感じながら昼食。静寂、晩秋の自然を感じるふさわしい環境で、心身共に安らぎを感じるひとときであった。

食事もそこそこ早くも色付けしている者、スケッチが中々進まぬ者、それぞれである。「二時になりそろそろ上に登ろうか。良い風景もあるかも」

持物をまとめて川沿いの細い道を一列になりぞろぞろ歩く。急な坂道あり、足もと



が悪い。「気を付けや」叫び声かとぶ。かなり歩いたが滝までにはまだほど遠い気がする。この時期日暮れも早い。滝行行ったところで良い場所があるやろうかとボヤキの声。一瞬とまどい同時にユーターン早いこと。もと来た下り坂を歩く。けっこう皆疲れたのか口数少ない。本通りに出ると両側に小物売りがめだつ。色々と見て通るだけでもけっこう楽しい。少しずつ駅に近づく。

T・シルバートリアル同好会

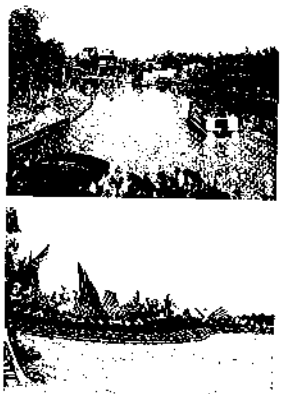
第1班 山田 英明

浜名湖花博に行つて

去る四月中旬、友人の誘いでオープンして間もない浜名湖花博に行つて来た。園芸の仕事をしている自分にとっては是非行つてみたいと思つていたので友人のツアーに同行させてもらつて、非常に得るところが大であった。

園芸に従事する我々には是非一度は見学に行く価値はあると思う。花博会場の中は、花・水・緑の三つのゾーンに区別されているので、入場者各自の目的により一つのゾーンを目的に応じて集中的に見学するのが良いのではないかと。あの広大な会場は





一日や二日では見て回る事は出来ないと思つた。大型バスで次々と送り込まれてくるのは、ほとんどの人が我々のようなシニアの方達である。バスを降り会場に入ったから急いでベンチを探して奪い合うように腰を降ろしていた。

花のゾーンは百花繚乱の如く花花花で埋め尽くされていた。特に目を引いたのは球根ベゴニアの赤黄白の原色の色どりに感動した。又オートメーションで一度に十二鉢に黄を植え付けて行くのを見てここまでオートメ化が進んでいるのかとちょっとおどろいた。

次に水のゾーンでは個人の庭園にいかにか水を利用するか。昔から現代への変遷、静止の水から流動の水へ、大きな庭石から川の中の飛石へ変化して来ているのを見ると、我々の仕事に役立つ事が大いにあった。緑のゾーンも自分には大いに参考になった。各種の樹木、花木の整姿剪定をじっくり見学していたら一日や二日では時間が足りなかつた。

囲碁同好会

第3班 梶浦 武彦
平成十六年度夏期囲碁大会は、

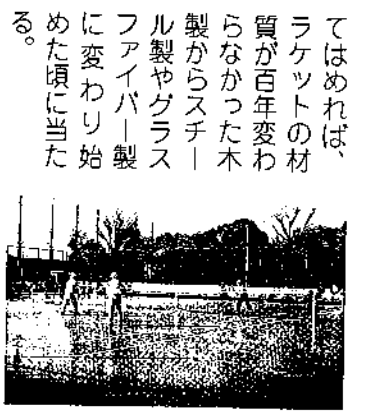
去る七月三十日に豊中国際交流センター一階の北桜塚自治会館を借用して開催されました。参加者はこれ迄の人数を上回り、十四名の参加を得て、盛会裡に開始され、各自の熱戦各四局の勝率により優勝者を決定し、同率二位の方々三名についてはくじ引きにより準優勝者を決定させて頂きました。その結果優勝は四局全勝の宮浦三級(今後は二級に昇級)、準優勝は中野五段に決まりました。

次回は平成十七年一月末または二月初旬に冬期大会を開催の予定です。同好会員のますますのご研鑽とご参加を期待しております。

テニス愛好会

第13班 藤田 泰通

物事にはそれぞれ流行があるようにテニスにもやはり盛んな時とそうでない時があるらしい。数年前から街でラケットを携えた人の姿が、一昔前に比べて余り目につかないような気がしていたが、昨年あたりからテニス人口が増えて来ているとの事。新聞記事からの引用であるが「レジャー白書二〇〇三年」によると、一九九七年のテニス人口七九〇万人を底に二〇〇二年は九一〇万人に増加。ところでテニスブームはおよそ二十年周期で巡ると述べられている。戦後最初のブームは一九六〇年代。天皇、皇后両陛下下のテニスコースのロマンスが想起される(成婚一九五九年。余談だが「ふれあい」でご紹介したラケットの変遷に当



てはめれば、ラケットの材質が百年変わらなかつた木製からスチール製やグラスファイバー製に変わり始めた頃に当たる。

次の二十年目は一九八〇年代にテニスがファッションの一部に取り込まれ、若者を中心にラケットを握る人がブームを作ったとの事。そして次の二十年目が二〇〇〇年以降。今度の主役は子供や少年少女達。彼等を指導するテニス教室や高校のクラブ活動が極めて盛んである。又見逃せないのは一九八〇年代のブーム時にテニスに親しんだ人達が、今子供達の親になってる事も無関係ではなさそうと述べている。そして今のブームは単なる流行ではなく、少年少女達の中から世界に通用するような選手も生まれるかも知れないと期待されている。世代間の人間関係、教育の問題等何か参考に成りそうな事柄ではなからうか。

我がテニス愛好会、発足以来間もなく七年。ブームにはおよそ関係なく、ますます元気にゲームを楽しんでいる。

文芸クラブ「うるおい」

新年、明けまして
おめでとつございます。
文芸クラブ「うるおい」では、

年二回、同人誌「うるおい」を刊行しています。次号で第十号になります。会員の皆さんの熱意で欠かすことなく続いています。月例会では、作品の鑑賞・講評、時節の寸評など、自由に意見交換をしています。

昨年十二月十一日(土)には忘年会を市内のとある料亭で催し、大いに盛り上がりました。

今年は、男性会員も増え、新しい動きがでてきました。

シルバー「英会話」クラス

「シルバー」英会話「クラス」と銘打って昨年九月から、月二回、第一火曜日と第二火曜日に集まっています。むつかしい英語はやめて、自分達で、会話のストーリーを組立てて、英語名を呼び合つて、会話を愉しんでいます。

喜には新婚ほやほやの夫のスコットランド人やフィリピン女性それにサンタ姿のオーストラリアの女性を混じえ、英語でクリスマスソングを歌い、楽しいパーティーをしました。



生活にリズムを持って前向きに 商品管理班



私は“ふれあい”帽子



今回の取材は、国道一七六号線に面した豊中市南桜塚の「大阪北生協コープ桜塚」で就業する四人の会員さんです。十一月四日(木)午前十時過ぎ、就業中の合間を縫ってお話を伺いました。

受け取り各売り場に振り分ける。一つの荷受け口は順次入荷するから、そのあとの片付け、整理もスピーディーに行わなければならない。時に応じ冷蔵庫の整理もする。前田靖一さんは魚売り場、山野敏夫さんは畜産売り場を担当。商品の補充、点検に忙しい。見映えよくしかもたくさん並べるコツがあるそうで、職員の方にはまだまだ及ばないとのこと。



原則として一日三時間、週四日の就業となっている。裏方の仕事だから朝は早い。特に荷受け担当の小西さんは必ず日曜日、五時三十分出勤で、この日は全部門を扱っている。お客さんへのにこやかなあいさつと、商品説明の対応もこの仕事のうち。「人生経験を重ねたシニ



アならではの気配りに対応は、若い人にはなかなかできない」と、小川渉・農産チーフは手放しのほめようでした。

就業して日の浅い山野さんは、「お客さんに肉のことを聞かれてわからないことが多いので、インターネットで調べたり、売り場の配置図もパソコンに入力、印刷していつも持っています」ここで働いて得た収入で、趣味の詩吟など心置きなく楽しめる」と笑顔で語るのは前田さん。

京都府園部町出身の小西さんは、京都府農業後継者育成事業の代表を務めたこともある農業一筋の人で養鶏、野菜・米作りにくわしい。小川チーフが一目おいている様子もうなずけます。「仕事を終えたら、二時間は音楽を聴きま

第8班 佐藤 アツ

す。健康いちばん、元気いちばんです」と。

井村さんは十時半を回った頃、仕事を終えて歯科の予約があるため帰られたようで、取材ができず残念でした。

それぞれに生活にリズムを持って前向きに働いていらっしゃる方々に、今回も元気をもらった思いでした。

大阪北生協グループ購入歴三十余年の私は、今日の取材にご縁を感じながら、安心・安全な食品を供給してくれる生協を理解し利用する人が更に増えることを願って、帰途につきました。

